令和３年度

地域防災の活動報告

令和４年３月

NPO法人
ひょうご地域防災サポート隊

ご あ い さ つ

令和３年度も新型コロナウイルスの感染拡大と沈静化が繰り返される中、東京オリンピック･パラリンピックは１年の延期を経て無観客で開催されました。令和４年２月には、第６波のオミクロン株に見舞われる中、北京冬季オリンピック閉会後のロシアによるウクライナへの軍事侵攻があり、国際社会の大きな非難を浴びています。このような状況下ではありますが、皆さまにはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。そして、私たちの防災・減災活動に、ご支援、ご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

私たち「ひょうご地域防災サポート隊」は、兵庫県を退職した技術職員が集い、平成１８年１月にNPO法人の認証を受けました。

私たちが県職員時代に遭遇した「阪神・淡路大震災」が活動の原点になっています。各自の持場で、「安全で快適なまちづくり、地域づくり」に取り組んでいましたが、技術の限界、想定をはるかに超える自然の力を思い知らされました。また、「公助」の限界も目の当たりにする一方、「自助」「共助」が命を守り、復興に大きな役割を果たすことを学びました。

このような経験を原点として「守れ、いのちを！」を合言葉に、各地域に出向き、兵庫県が作成したCGハザードマップを活用するなど、それぞれの地域が内包する災害リスクを確認し、地域の方々と共に防災力向上や減災対策について考えてきました。

本年度は２名を新会員として迎えることができ、昨年度末に１名退会したため、２５名の会員により活動しました。

今年度は、6月末から7月上旬にかけて西日本から東日本に梅雨前線が停滞し、静岡県の複数の地点で72時間降水量の観測史上1位を更新するなど記録的な大雨となりました。7月3日10時30分頃、熱海市伊豆山の逢初川で土石流災害が発生し、26名が犠牲になられ、1名は行方不明でいまなお捜索が継続されています。家屋が倒壊していく衝撃的な映像がメディアを通じて流れました。逢初川源頭部の盛土が崩壊しており、訴訟問題になっています。また、この土砂災害での救助活動における行方不明者の特定に、安否不明者の氏名公表が寄与しました。プライバシー保護との兼合いはありますが、一刻も早い救助と救助隊の2次被害を防ぐためにも、早期に安否不明者の氏名を公表できるような取り組みも求められているのではないでしょうか。

さらに、8月11日以降日本付近に前線が停滞し、西日本から東日本にかけて広い範囲で大雨となり、総雨量が多いところで1,400㎜を超える記録的な大雨となりました。中国地方や九州北部地方に線状降水帯が発生し、大雨特別警報も発令されました。長野、広島、長崎、熊本、鹿児島の5県で13名が犠牲になられています。

令和４年１月 15 日 13 時頃にはトンガで海底火山が噴火し、日本の沿岸地域に津波警報、注意報が発令されました。この潮位変化により、高知、徳島、三重県などで、漁船の沈没、転覆などの被害が出ました。この３月 16 日 23 時 36 分には福島県沖を震源とする M7.4 最大震度 6+が福島県、宮城県で観測される強い地震が発生しました。

「避難勧告」「避難指示」を「避難指示」に一本化するなどの災害対策基本法の改正が令和３年５月 10 日に公布、５月 20 日に施行されました。

また、気象庁ホームページもリニューアルされ、「キキクル（危険度分布）」では、それぞれの地域の「雨雲の動き」、「土砂災害の危険度」、「浸水の危険度」、「洪水の危険度」が表示されるなど、各自が避難行動を取る上での判断の基となる情報を分かりやすく提供する工夫がなされました。

国土交通省の「川の防災情報」もリニューアルされ、それぞれの地域の「河川水位」「雨量」「ダムの放流量、流入量、水位等諸量」などを分かりやすく提供する工夫がなされました。

兵庫県や県内各市町も「防災ネット」の普及や「マイ避難カード」の作成推奨を通じ、各自の的確な避難に繋ぐよう取り組んでいます。

内閣府は、梅雨時期を前に、「避難行動判定フロー」に基づく的確な避難行動が取られるよう、新型コロナウイルスの避難所での感染を防ぐためにも昨年度に引き続き避難についてのキャンペーンを行いました。

令和３年度の活動状況は、以下の通りです。

兵庫県阪神南県民センターの依頼を受けて、７月１７日から８月１日までの土、日、祝日の８日間、「尼ロック防災展示室」特別公開支援業務に携わりました。神戸市北区の保護司会、東播磨地区自治会を対象にそれぞれ防災講演会を実施しました。神戸市内で２回、加東市、宍粟市でそれぞれ１回、ワークショップ形式の活動を行うとともに、行政機関職員を対象とした講演会等の活動を２回実施しました。

新型コロナウイルスが１日も早く終息することを願いつつ、激化する降雨災害や発生が懸念される南海トラフ地震等を念頭に、最新の防災・減災対策の動向にも関心を払いながら、研鑽を積み、地域の防災力向上に引き続き貢献して行きたいと考えております。なお、私自身は今年度をもって理事長職を退任いたします。平成 26 年度に伊藤道司前理事長から引き継いで以来、皆様から頂いたご指導、ご支援に深く感謝申し上げます。

今後とも、当法人の活動につきまして、各位のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和４年３月吉日

ひょうご地域防災サポート隊

理事長　井上俊廣

目　次

Ⅰ．防災啓発活動（出前講座）　１

Ⅱ．防災啓発活動（防災訓練等支援）　５

Ⅲ．防災啓発活動（防災マップづくり等支援）　８

Ⅳ．防災啓発活動（防災展示室特別公開支援）１２

Ⅴ．その他の活動　１４

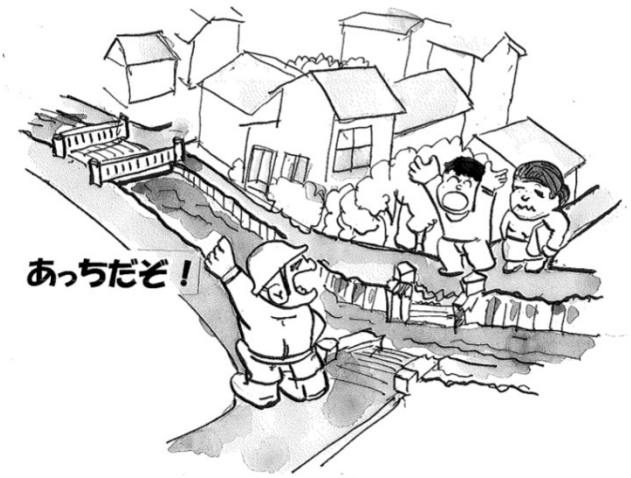
※「ひょうご地域防災サポート隊」HP 令和３年度活動報告

Ⅰ．防災啓発活動（出前講座）

私たちは、防災知識の普及啓発活動として、自治体等の依頼を受け、地域住民や自治体職員等を対象に３地区で、出前講座を実施しました。

実施地区一覧表

NO	開催日	活動内容	開催場所	担当者
1	R3.08.06	神戸市北区保護司会防災講演	すずらんホール	髙谷　和彦 廣田　　誠
2	R3.10.22	令和３年度 光都・龍野土木事務所職員防災講習会	西播磨総合庁舎 １階大会議室	井上俊廣 糟谷　昌俊 髙谷　和彦 廣田　　誠
3	R3.11.30	第46回東播磨地区自治会研究会	高砂市文化保健センター 中ホール	糟谷　昌俊 相埜　利幸 元井　賢一



１・神戸市北区保護司会防災講演

１．依　頼　者　：　神戸市北区保護司会

２．開　催　日　：　令和３年８月６日（金）

３．開 催 場 所 ：　すずらんホール

４．講演等の相手：

神戸市北区保護司会会員　約 30 名

５．講　演　者　：　髙谷和彦

（補助）廣田誠

６．講 演 内 容 ：

自然災害の脅威と私達が取るべき対応について
～特に北区における災害可能性と高齢者の対応～

１．　自然災害の脅威（最近の災害）について
２．　自分が住んでいる場所は安全か（洪水、土砂災害）
３．　いつ逃げるか
４．　どこへ逃げるか（４つの選択肢）
５．　どんなルートで逃げるか
６．　どんな手段で逃げるか
７．　何を持って逃げるか
８．　どんな格好で逃げるか
９．　逃げ遅れた場合、どうするか

２・令和３年光都・龍野土木事務所職員防災講習会

１．依　頼　者　：　西播磨県民局光都土木事務所

２．開　催　日　：　令和３年１０月 22 日（金）

３．開 催 場 所　：　西播磨総合庁舎１階大会議室

４．講演等の相手：

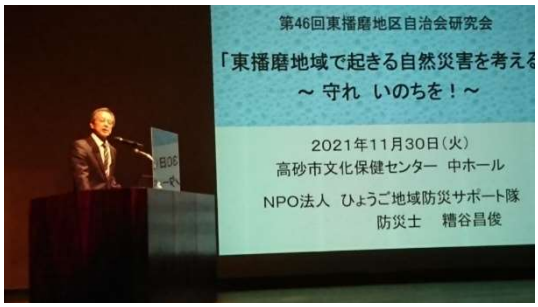
光都土木事務所、龍野土木事務所
県民局総務企画室職員　　合計 50 名

５．講　演　者　：　井上俊廣・糟谷昌俊・髙谷和彦
（補助）廣田誠

６．講 演 内 容 ：

平成 16 年災害、平成 21 年災害、平成 30 年災害について、当時の県民局県土整備部長、土木事務所長経験者が災害の概要と教訓を現役職員に伝える取り組み。

３・第４６回東播磨地区自治会研究会



１．依　頼　者　：　東播磨地区自治会連合会
東播磨県民局

２．開　催　日　：　令和３年１１月30日（火）

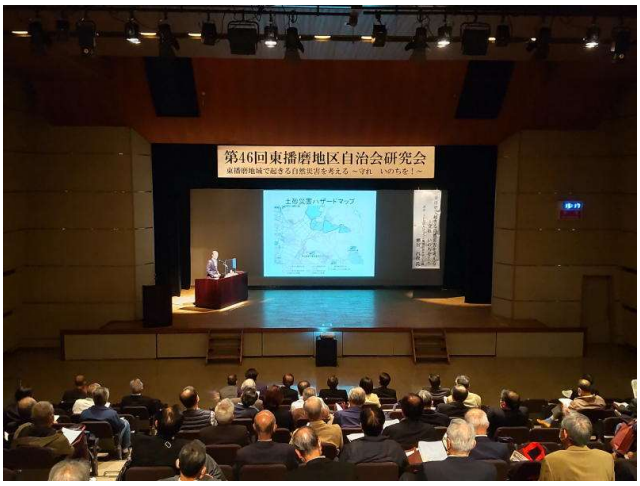
３．開 催 場 所　：　高砂市文化保健センター
中ホール

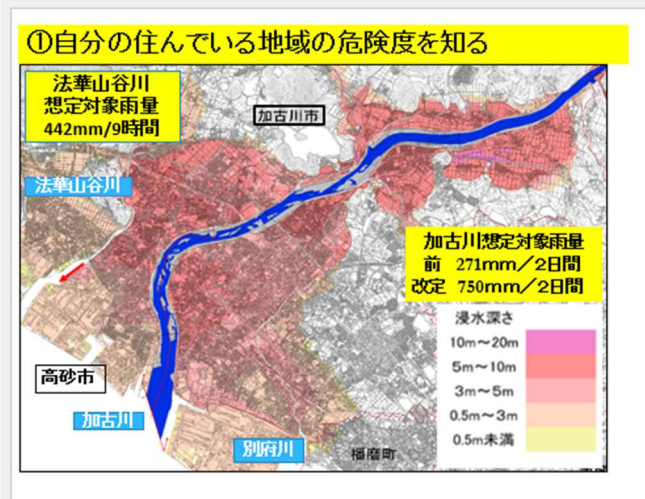
４．講演等の相手：
東播磨県民局管内自治会長等　　参加者：120 名

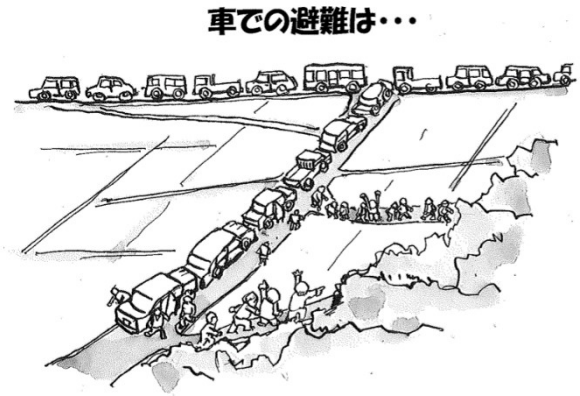
５．講　演　者　：　糟谷昌俊　（補助）相埜利幸・元井賢一

６．講 演 内 容　：
「東播磨地域で起こる自然災害を考える」
～守れ　いのちを！～

1. 大雨洪水災害
2. 南海トラフ巨大地震と津波
3. 内陸地震
4. 高潮災害
5. 守れ　いのちを！







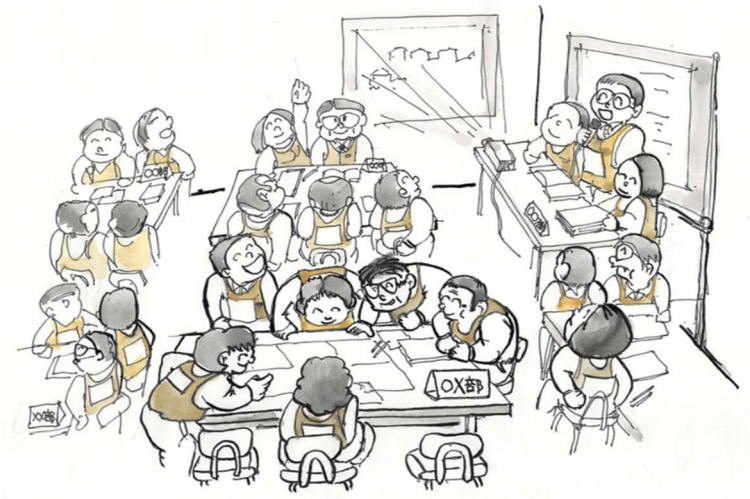
Ⅱ．防災啓発活動（防災訓練等支援）

私たちは、地域の自治体等の要請にもとづき、避難所ＨＵＧ訓練を２地区で行いました。

※避難所ＨＵＧとは、避難所運営をみんなで考えるためのもの。Ｈ（hinanzyo 避難所）Ｕ（unei 運営）Ｇ（game ゲーム）、HUG（抱きしめる、避難者をやさしく受け入れる）

実施地区一覧表

NO	開催日	支援内容	支援場所	担当者
1	R3.07.１０	加東市 HUG 訓練	滝野総合公園体育館 スカイピア	谷川　俊男 相埜　利幸 寺田　良幸 中村　誠 元井　賢一
2	R3.10.26	令和３年度 緊急避難場所担当職員訓練 避難所運営ゲーム（HUG） 午前・午後２回実施	加東市役所２階 会議室	（午前） 谷川　俊男 榊原　敏夫 谷田　登志晴 林　健児 元井　賢一
				（午後） 寺田　良幸 相埜　利幸 糟谷　昌俊 髙谷　和彦 岩崎　日出夫



１・加東市 HUG 訓練

１．依　頼　者　：　加東市役所総務財政部防災課

２．開　催　日　：　令和３年７月１０日（土）

３．支 援 場 所　：　滝野総合公園体育館
スカイピア

４．講演等の相手：
加東市市民(主に地区の役員) 23 名
サポートする側として開催主体の市役所職員
(総務財政部長ほか７～８名)　計　約 30 名

５．講　演　者　：　谷川俊男

（ファシリテーター）相埜利幸・寺田良幸 ・中村誠・元井賢一

６．講 演 内 容 ：
加東市民を対象とした HUG 訓練
１．　概要説明と準備
２．　アイスブレイキング
３．　対象災害(山崎断層地震)等訓練条件の確認
４．　ウォーミングアップ
５．　訓練
６．　まとめと意見発表
７．　講評　　(新型コロナウイルスへの対応も少し入れました。)

２・令和３年度緊急避難場所担当職員避難所運営ゲーム

１．依　頼　者　：　加東市役所総務財政部防災課

２．開　催　日　：　令和３年 10 月 26 日（火）

３．開 催 場 所 ：　加東市役所２F 会議室

４．講演等の相手：

加東市役所緊急避難場所担当職員
午前 24 名　午後 20 名　合計 44 名

５．講　演　者　：　午前：谷川俊男
午後：寺田良幸

（ファシリテーター）午前:榊原 敏夫・谷田 登志晴・林 健児・元井 賢一
午後:相埜 利幸・糟谷 昌俊・髙谷 和彦・岩崎 日出夫

６．講 演 内 容 ：

避難所担当職員 HUG(風水害編)

１．	概要説明と準備	(10 分)
２．	アイスブレイキング	(5分)
３．	研修内容の共通認識	(5分)
４．	ウォーミングアップと運営方針の決定	(15 分)
５．	ゲーム	(60 分)
６．	まとめと意見交換	(30 分)
７．	コメント	(15 分)
８．	阪神淡路大震災の避難所立ち上げ例の紹介	(10 分)

以上を午前午後各々1 回実施

Ⅲ．防災啓発活動（防災マップづくり等支援）

自主防災組織の活性化を図り、地域の防災組織の向上を図る取り組みの一つとして、地域の人たちによる手作りの「地域防災マップづくり」や「DIG 訓練」、「ワークショップ」等を自治体や自主防災組織等を対象に３地区で支援活動を行った。

※　DIG 訓練とは、災害（Disaster）の D、想像力（Imagination）の I、ゲーム（Game）の G の頭文字を取って名付けられた、誰でも行うことができ、誰でも参加できる簡易な災害図上訓練です。

実施地区一覧表

NO	開催日	活動内容	開催場所	担当者
1	R3.10.21	神戸市長田区二葉地区ワークショップ	二葉地域福祉センター	林　健児 阪出　裕昭 谷田登志晴 寺田　良幸
2	R3.11.21	神戸市ボーイスカウト防災講演とワークショップ	神戸市立春日野小学校	寺田　良幸 林　健児 井上　俊廣 髙谷　和彦 谷川　俊男 森脇　康仁
3	R3.12.05	宍粟市防災マップの作り方講習会（蔦沢地区）	宍粟市生涯学習センター学遊館	榊原　敏夫 相埜　利幸 糟谷　昌俊 谷田登志晴 元井　賢一

１・神戸市長田区二葉地区ワークショップ

１．依　頼　者　：　神戸市自治会連絡協議会

２．開　催　日　：　令和３年 10 月 21 日（木）

３．開 催 場 所　：　二葉地域福祉センター

４．講演等の相手：

駒ヶ林地区住民 10 人（２班）
二葉地区住民　　４人（１班）
神戸市自治会連絡協議会４人　　合計１８名

５．講　演　者　：　林健児

（ファシリテーター）阪出裕昭・谷田登志晴・寺田良幸

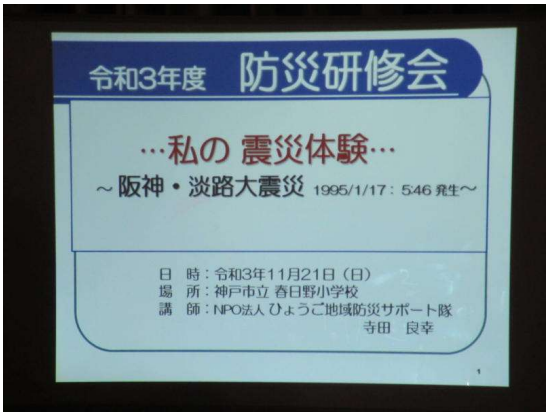
６．講 演 内 容 ：

１．　防災マップ（DIG）づくり
　（1）マップづくり
　（2）発表
　（3）講評

２．　マイ避難カードづくり

※作成したマイ避難カードは、主催者（神戸市自治会連絡協議会）が、縮小（B5）・ラミネート加工して、後日、参加者に配布する。

２・神戸市ボーイスカウト防災講演とワークショップ



１．依　頼　者　：　ボーイスカウト兵庫連盟
神戸第 15 団

２．開　催　日　：　令和３年１１月２１日（日）

３．開 催 場 所　：　神戸市立春日野小学校

４．講演等の相手：

ボーイスカウト兵庫連盟　神戸第 15 団
小学生 14 人、中学生６人、大人 20 人、幼児４人
計 44 名

５．講　演　者　：　寺田良幸・ 林 健児

（ファシリテーター） 井上俊廣・谷川俊男・森脇康仁・髙谷和彦

６．講 演 内 容 ：

Ⅰ.　防災講演　　「私の震災体験」　～阪神・淡路大震災～　　講師　寺田　良幸

１．　地震発生　ー六甲・淡路島断層帯が動いたー
２．　避難行動　ーより安全な処を選び避難を続けたー
３．　避難所　　ー夕方 神戸改革派神学校に収容されたー
４．　最後に　　ー今直ぐに、準備出来ることが有ります－

Ⅱ.　ワークショップ　「マイひなんカード」づくり　　講師　林　健児

１．　土砂災害についての学習
２．　神戸市「くらしの防災ガイド」を使ったハザードマップの見方
３．　子供向け「マイひなんカード」づくり
４．　発表

３・宍粟市防災マップの作り方講習会（蔦沢地区）

１．依　頼　者　：　宍粟市市長公室危機管理課

２．開　催　日　：　令和３年１２月５日（日）

３．開 催 場 所　：　宍粟市生涯学習センター学遊館

４．講演等の相手：

宍粟市山崎町蔦沢地区　７自治会
参加者：自治会 19 名、市職員５名、
　　西播磨県民局１名　　計 25 名

５．講　演　者　：　榊原敏夫

（ファシリテーター）相埜利幸・ 糟谷 昌俊・谷田 登志晴 ・元井賢一

６．講 演 内 容 ：

「防災マップの作り方」講習会
１．　マップづくり作業
２．　発表
３．　まとめ

Ⅳ．防災啓発活動（尼ロック防災展示室特別公開支援）

尼崎港管理事務所所管の尼崎閘門（通称尼ロック）に併設された防災展示室において、尼ロックの見学と併せて、高潮・津波等に対する海岸防災意識高揚のための特別公開が開催され、その案内業務を行いました。

※7月３日から８月29日間の土、日、祝日の21日間が予定されていましたが、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言の実施期間中は公開が中止となり８日間だけの活動となりました。

1. 依　頼　者　：　阪神南県民センター
尼崎港管理事務所

2. 開 催 日 時　：　7月17から8月1日まで
（期間中の土日祝日）

3. 開 催 場 所　：　尼ロック防災展示室

4. 来　場　者　：
期間中　延べ100名
（大人79、中学生３、小学生15、乳幼児３）

5. 業務従事者：　総括：今井猛

井上 俊廣・窪田 彰・阪出 裕昭・谷川 俊男・中村 誠・廣田 誠・森脇 康仁・髙﨑 伸彦
常友 永市・相埜 利幸・市川 和幸・糟谷 昌俊・岩崎 日出夫

6. 活 動 内 容　：

尼ロック防災展示室の特別公開支援

尼崎港管理事務所所管の尼崎閘門（通称尼ロック）に併設された防災展示室において、津波、高潮等の海岸防災意識高揚のための特別公開の案内業務

特別公開の様子

■尼ロック新聞記事

海の門番「尼ロック」学ぼう

7～8月土日祝、展示室公開

「尼ロック」の全景。7、8月の土日祝日に防災展示室が一般公開される（尼崎市で）＝県提供

水害防止の役割で知られる尼崎市西海岸町の「尼ロック」（尼崎閘門）で7～8月の土日祝日、集中コントロールセンター内の防災展示室が一般公開される。

二つの水門を開閉することで海と運河の水位差を調整し、船が通航できるようにしている尼ロック。高潮や津波の発生時は陸側の水面が上昇するのを防ぎ、地盤の低い市域を水害から守っている。

こうした仕組みを知ってもらおうと、管理する県尼崎港管理事務所が公開を企画した。NPO法人に運営を委託することで、夏休みを迎える子どもに楽しんでもらい、自由研究のテーマとしても活用を勧める。

防災展示室では、尼ロックができた経緯を紹介する年表や、施設の仕組みを解説したパネル、模型などが見られる。かつて、実際に使用されていた操作盤もある。

建物のデッキからは、尼ロックを見渡すこともできる。各日の先着20人にはオリジナルランタンのプレゼントもある。

入場無料で、午前10時～午後4時。問い合わせは県尼崎港管理事務所（06・6409・1356）へ。

Ⅴ．その他の活動

西播磨県民局主催の「ひょうご安全の日西播磨地域のつどい」（太子町開催）において、防災に携わる地元のNPO法人として、その活動事例発表の機会を得て準備を進めていましたが、新型コロナのまん延防止等重点措置が発出されたため中止となりました。

その代替え措置として、ナレーションを入れた活動の紹介動画が、「ひょうごチャンネル」で配信されました。

１・「ひょうご安全の日西播磨地域のつどい」活動事例発表

１．依　頼　者：　西播磨県民局・太子町役場企画政策課

２．開 催 日 時：　令和４年１月２２日（まん延防止等重点措置発出により中止）

３．開 催 場 所：　太子町丸尾建築あすかホール

４．発　表　者：　井上俊廣

５．内容

活動事例報告

１．　活動の原点：阪神・淡路大震災

２．　対象災害：降雨災害（洪水・土砂災害・高潮）、地震、津波

３．　活動形態：

- 講演
- 地域防災マップづくり・ＤＩＧ訓練・HUG訓練
- 市防災図上訓練参画、防災職員研修
- 水防工法技術研修会講師

４．　活動素材

事例発表パワーポイント

私たちの

地域防災活動への

ご支援ご協力

ありがとうございました

今後ともよろしく

お願いします

特定非営利活動法人

ひょうご地域防災サポート隊

（平成１８年１月５日設立）

私たちは、NPO 法人「ひょうご地域防災サポート隊」を設立し、地域の人々に対して、安全安心のまちづくりの推進のため、その地域に合った防災・減災対策等についての様々なサポート活動を行います。

令和４年３月

理事長	井上　俊廣
副理事長	窪田　　彰
理　事	釜谷　正博
同	榊原　敏夫
同	阪出　裕昭
同	谷川　俊男
同	谷田登志晴
同	林　　健児
同	廣田　　誠
同	森脇　康仁
監　事	相埜　利幸
同	中村　　誠
会　員	阿山　耕三
同	市川　和幸
同	今井　　猛
同	岩崎日出夫
同	糟谷　昌俊
同	白井　伸幸
同	髙﨑　伸彦
同	髙谷　和彦
同	髙橋　伸明
同	常友　永市
同	寺田　良幸
同	村上　和幸
同	元井　賢一

ホームページ
https://support-tai.org/
（地域防災サポート隊で
検索して下さい。）

連絡先
〒671-1511
兵庫県揖保郡太子町太田 463 番地 1
（廣田方）
Tel/Fax　0792（76）3907
E-mail　info@support-tai.org